

令和5年

消 防 統 計

乙訓消防組合消防本部

令和5年消防統計目次

消防統計の概要	．．．	1～5
1 火災統計		
(1) 火災概要	．．．．．	6
(2) 市町別概要	．．．．．	7
(3) 出火原因別の火災件数と損害額	．．．．．	8
(4) 月別状況	．．．．．	9
(5) 火災種別損害額	．．．．．	9
(6) 覚知方法別件数	．．．．．	9
(7) 時間帯別件数	．．．．．	10
(8) 曜日別件数	．．．．．	10
2 その他災害統計		
(1) その他災害種別の件数	．．．．．	11
(2) 市町別その他災害種別の件数	．．．．．	11
(3) 覚知方法別件数	．．．．．	12
(4) 時間帯別件数	．．．．．	12
(5) 曜日別件数	．．．．．	13
3 救助統計		
(1) 事故種別出場件数及び活動件数	．．．．．	14
(2) 市町別出場件数	．．．．．	15
(3) 事故種別救出人員	．．．．．	16
(4) 発生場所別出場件数及び活動件数	．．．．．	17
4 救急統計		
(1) 事故種別出場件数及び搬送人員	．．．．．	18
(2) 年齢区分別事故種別搬送人員	．．．．．	19
(3) 事故種別傷病程度別搬送人員	．．．．．	19
(4) 年齢区分別傷病程度別搬送人員	．．．．．	20
(5) 傷病程度別搬送人員	．．．．．	20
(6) 市町別出場件数	．．．．．	21
(7) 消防署別出場件数	．．．．．	22
(8) 救急隊員が行った応急処置状況	．．．．．	23

消防統計の概要

1 火災統計

(1) 出火状況

ア 令和5年の出火件数は26件で、前年に比べ3件の減少となっている。

また、火災による死者は0人となっており、前年の3人に比べ3人の減少となっている。

火災種別では、「建物火災」が13件で前年に比べ6件の減少、「林野火災」は0件で3件の減少、「車両火災」は8件で6件の増加、「その他火災」は5件で前年と同件数となっている。

〔1(1)火災概要〕

イ 市町別発生件数では、出火件数26件中、「向日市」が6件、「長岡京市」が12件、「大山崎町」が8件となっている。

〔1(2)市町別概要〕

ウ 月別の出火状況は、「1月」、「3月」、「11月」及び「12月」が各4件で15.4%と最も多く、次いで「6月」が3件で11.5%、「5月」及び「10月」が各2件で7.7%、「2月」、「8月」及び「9月」が各1件で3.8%の順となっている。

また、月別の損害額については、5月の32,457千円が最も多くなっている。

〔1(4)月別状況〕

エ 時間帯別件数は、「12時～14時」が5件で最も多く、次いで「8時～10時」が4件、「2時～4時」及び「16時～18時」が各3件、「6時～8時」、「10時～12時」及び「18時～20時」が各2件、「0時～2時」、「4時～6時」、「14時～16時」、「20時～22時」及び「不明」が各1件となっている。

〔1(7)時間帯別件数〕

オ 曜日別件数は、「日曜日」及び「金曜日」が各6件と最も多く、次いで「月曜日」及び「木曜日」が各4件、「火曜日」が3件、「土曜日」が2件、「水曜日」1件となっている。

〔1(8)曜日別件数〕

(2) 出火原因

出火件数26件中、出火原因別の項目に含まれない「その他」が13件と最も多く、次いで「配線器具」が4件、「たばこ」及び「不明」が各2件、「こ

んろ」、「電気機器」、「マッチ・ライター」、「たき火」及び「火入れ」が各1件となっている。

〔1(3)出火原因別の火災件数と損害額〕

(3) 損害額

ア 損害額は、41,855千円となっており、前年に比べ6,148千円の減少となっている。内訳としては、「建物火災」による損害額が7,045千円の減少、「車両火災」は652千円の増加、「その他火災」は245千円の増加となっている。

〔1(1)火災概要〕

イ 火災種別損害額では、「建物火災」が39,162千円で全体の93.6%となっており、次いで「車両火災」が2,422千円で全体の5.8%、「その他火災」が271千円で全体の0.6%となっている。

〔1(5)火災種別損害額〕

(4) 覚知方法別件数

覚知方法別件数は26件中、「火災報知専用電話（携帯電話）」が13件で50.0%、次いで「事後聞知」（消防が鎮火後に覚知したもの。爆発の場合は、消防機関が実際に出火又は再爆発の危険がなくなったと推定又は認定した時分が、覚知時分以前のもの）が6件で23.1%、「火災報知専用電話（固定電話）」（NTT加入電話を除く）が4件で15.4%、「加入電話（携帯電話）」、「駆け付け通報」及び「その他」が各1件で3.8%となっている。

〔1(6)覚知方法別件数〕

2 その他災害統計

(1) その他災害発生件数及び種別件数

その他災害の発生件数は27件で、前年の29件に比べ2件の減少となっている。また、災害種別の発生件数は、「交通」が19件、次いで「危険物」が7件、「ガス・酸欠」が1件となっている。

〔2(1)その他災害種別の件数〕

(2) 市町別件数

市町別の発生件数は、「向日市」が13件、「長岡京市」が10件、「大山崎町」が3件、「その他の市町」が1件となっている。

〔2(2)市町別その他災害種別の件数〕

(3) 覚知方法別件数

覚知方法別の発生件数は、「火災報知専用電話（携帯電話）」が10件で37.0%、次いで「加入電話（固定電話）」が9件で33.3%、「その他」が6件で22.2%、「加入電話（携帯電話）」及び「西日本高速道路」が各1件で3.7%となっている。

〔2(3)覚知方法別件数〕

(4) 時間帯別件数

時間帯別の発生件数は、「8時～10時」及び「16時～18時」が各5件と最も多く、次いで「6時～8時」及び「10時～12時」が各4件、「12時～14時」が3件、「20時～22時」が2件、「2時～4時」、「14時～16時」、「18時～20時」及び「22時～24時」が各1件となっている。

〔2(4)時間帯別件数〕

(5) 曜日別件数

曜日別の発生件数は、「月曜日」が7件と最も多く、「金曜日」及び「土曜日」が各6件、「水曜日」が3件、「火曜日」及び「木曜日」が各2件、「日曜日」が1件となっている。

〔2(5)曜日別件数〕

3 救助統計

(1) 出場件数及び活動件数

救助活動の状況は、出場件数が71件、活動件数は60件で前年に比べると出場件数は2件の増加、活動件数は4件の増加となっている。

〔3(1)事故種別出場件数及び活動件数〕

(2) 市町別件数

出場件数を市町別で見ると、「向日市」が18件、「長岡京市」が37件、「大山崎町」が14件、「その他の市町」には2件出場している。

〔3(2)市町別出場件数〕

(3) 救出人員

救出人員は59人で、前年と同数である。また、事故種別の内訳は、「建物等による事故」が31人、次いで事故種別の項目に含まれない「その他」が15人、「交通事故」が9人、「水難事故」が2人、「火災（建物）」及び「ガス及び酸欠事故」が各1人となっている。

〔3(3)事故種別救出人員〕

(4) 発生場所別出場件数及び活動件数

発生場所別出場件数の内訳は、「住居」が36件（うち活動あり32件）、次いで「その他の屋外」が12件（うち活動あり8件）、「その他の道路」が8件（うち活動あり6件）、「山岳」が7件（うち活動あり7件）、「高速道路国道」が3件（うち活動あり2件）、「その他の屋内」（うち活動あり2件）及び「内水面」（うち活動あり2件）が2件、「その他」が1件（うち活動あり1件）となっている。

〔3(4)発生場所別出場件数及び活動件数〕

4 救急統計

(1) 出場件数及び搬送人員

出場件数は7,942件で前年に比べ354件の増加、搬送人員については7,161人で前年に比べ429人の増加であり、1日あたりの出場件数は約21.8件、搬送人員は約19.6人となっている。

〔4(1)事故種別出場件数及び搬送人員〕

(2) 事故種別

事故種別出場件数は、「急病」が5,229件で全体の65.8%、次いで「一般負傷」の1,351件で17.0%、「交通事故」536件で6.7%となっており、これらが全体の約9割を占めている。

〔4(1)事故種別出場件数及び搬送人員〕

(3) 年齢区分

ア 年齢区分別事故種別の搬送人員は、「急病」では搬送人員4,750人中3,022人が「高齢者」で63.6%、次いで「成人」が1,202人で25.3%、「乳幼児」が377人で7.9%、「少年」が144人で3.0%、「新生児」が5人で0.1%となり、全体の半数以上を「高齢者」が占めている。

〔4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

イ 「交通事故」では、搬送人員508人中274人が「成人」で53.9%、次いで「高齢者」が183人で36.0%、「少年」が37人で7.3%、「乳幼児」が14人で2.8%となっている。

〔4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

ウ 「一般負傷」では、搬送人員1,231人中934人が「高齢者」で75.9%、次いで「成人」の167人で13.6%、「乳幼児」の90人で7.3%、「少年」が40人で3.2%となっている。

〔4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

(4) 傷病程度

傷病程度別搬送人員では、搬送人員7,161人中3,799人が「軽症」で53.1%になり半数以上を占めている。

〔4(3)事故種別傷病程度別搬送人員〕

(5) 市町別出場件数

市町別出場件数では、「向日市」が2,939件で37.0%、「長岡京市」が4,182件で52.7%、「大山崎町」が777件で9.8%、「乙訓管外」が44件で0.6%となっている。

〔4(6)市町別出場件数〕

(6) 消防署別出場件数

消防署別出場件数では、「向日消防署」が2,635件で33.2%、「長岡京消防署」が2,485件で31.3%、「長岡京消防署東分署」が1,363件で17.2%、「大山崎消防署」が1,459件で18.4%となっている。

〔4(7)消防署別出場件数〕

※ 本文中のパーセント(%)表示の数値については、小数点第2位を四捨五入しているため、実際の数値とは合致しない場合があります。

1 火災統計

(1) 火災概要

区	分	単 位	令和5年	令和4年	増減(△印減)
出火件数	建物		13	19	△ 6
	林野		0	3	△ 3
	車両		8 (4)	2 (2)	6 (2)
	その他		5 (0)	5 (1)	0 (△ 1)
	計	件	26 (4)	29 (3)	△ 3 (1)
焼損棟数	全焼		1	3	△ 2
	半焼		1	1	0
	部分焼		4	7	△ 3
	ぼや		7	6	1
	計	棟	13	27	△ 14
焼損床面積		m ²	195	388	△ 193
焼損表面積		m ²	16	2	14
林野焼損面積		a	0	7	△ 7
死者		人	0	3	△ 3
負傷者		人	1	7	△ 6
り災世帯数	全損		2	9	△ 7
	半損		0	0	0
	小損		9	21	△ 12
	計	世帯	11	30	△ 19
り災人員		人	23	67	△ 44
損害額	建物		39,162	46,207	△ 7,045
	林野		0	0	0
	車両		2,422 (717)	1,770 (1,770)	652 (△ 1053)
	その他		271 (0)	26 (24)	245 (△ 24)
	計	千円	41,855 (717)	48,003 (1,794)	△ 6,148 (△ 1077)
出火率		件/人口1万人	1.7	1.9	△ 0.2

※ 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

※ 出火率とは、人口1万人当りの出火件数をいう。

※ ()内は、「うち高速道路の火災」を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線、京都縦貫道上下線及び京滋バイパスの一部とする。

(2) 市町別概要

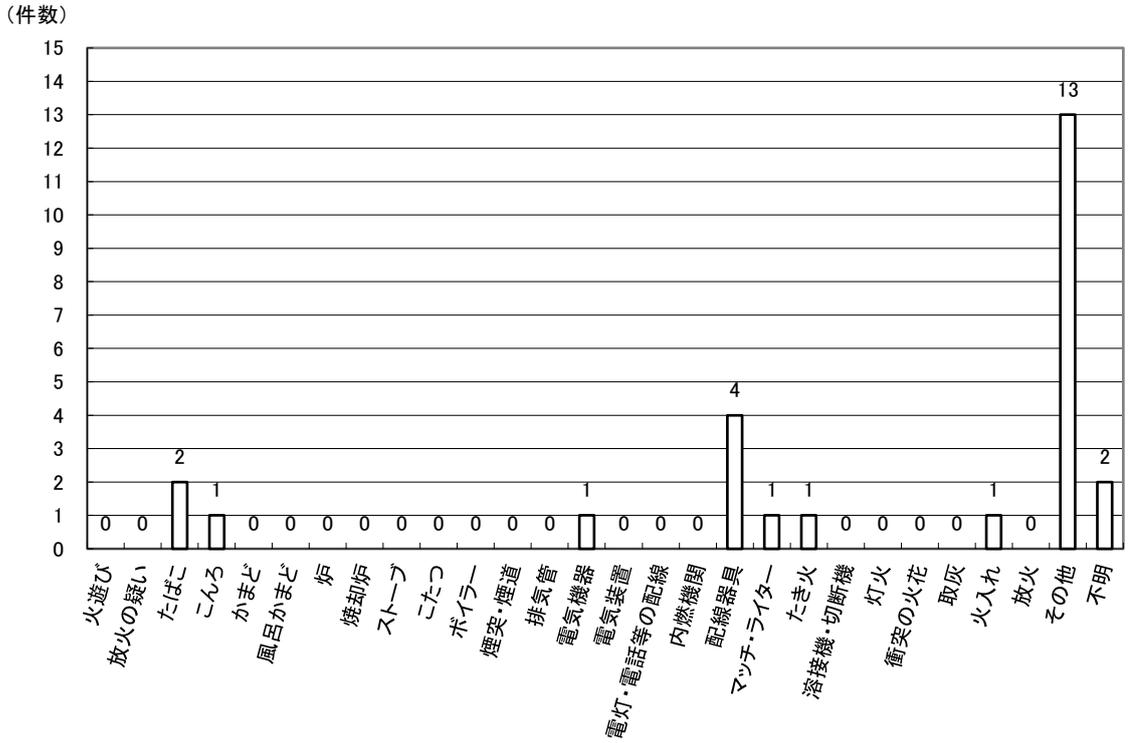
区	分	単 位	向日市	長岡京市	大山崎町
出火件数	建	物	4	5	4
	林	野	0	0	0
	車	両	0	5	3
	そ の 他		2	2	1
	計	件	6	12	8
焼損棟数	全	焼	0	0	1
	半	焼	0	1	0
	分	焼	2	1	1
	ば	や	2	3	2
	計	棟	4	5	4
焼 損 床 面 積		m ²	1	106	88
焼 損 表 面 積		m ²	1	2	13
林 野 焼 損 面 積		a	0	0	0
死 者		人	0	0	0
負 傷 者		人	0	1	0
り 災 世 帯 数	全	損	0	1	1
	半	損	0	0	0
	小	損	4	3	2
	計	世帯	4	4	3
	り 災 人 員		人	6	7
損 害 額	建	物	141	6,564	32,457
	林	野	0	0	0
	車	両	0	188	2,234
	そ の 他		2	11	258
	計	千円	143	6,763	34,949
出 火 率		件/人口1万人	1.1	1.5	4.8

※ 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

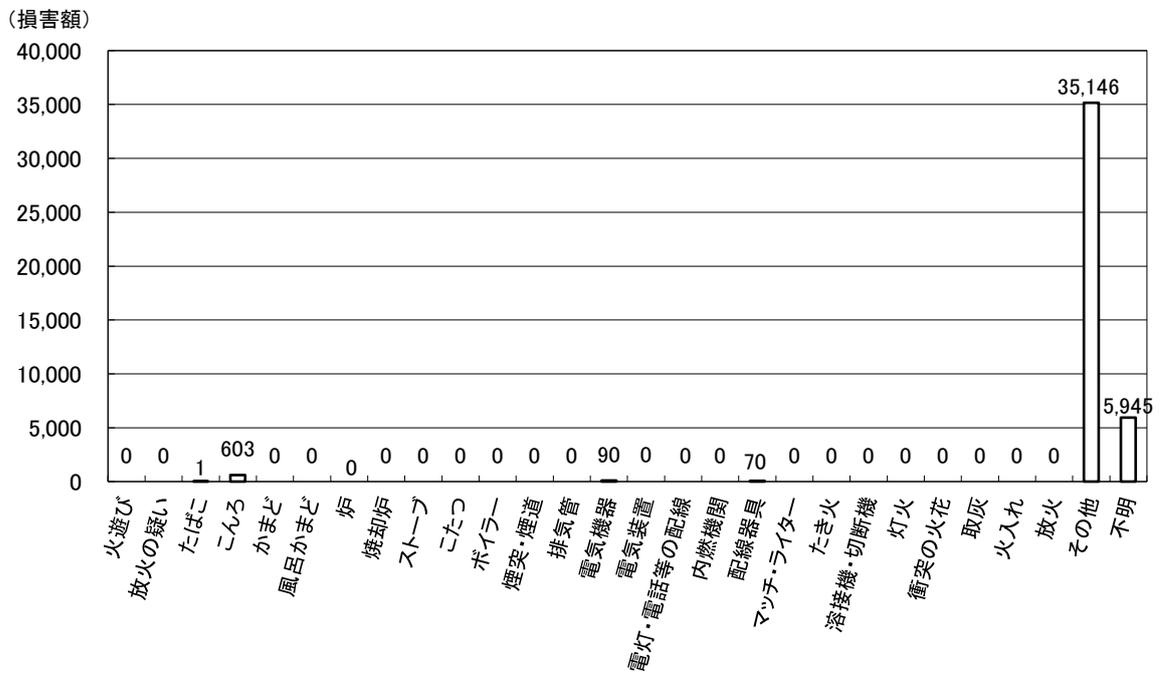
※ 出火率とは、人口1万人当りの出火件数をいう。

(3) 出火原因別の火災件数と損害額

火災件数(件)



損害額(千円)



(4) 月別状況

月別	区分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
1	月	4	15.4	3	0.0
2	月	1	3.8	60	0.1
3	月	4	15.4	6,110	14.6
4	月	0	0.0	0	0.0
5	月	2	7.7	32,457	77.5
6	月	3	11.5	109	0.3
7	月	0	0.0	0	0.0
8	月	1	3.8	11	0.0
9	月	1	3.8	0	0.0
10	月	2	7.7	803	1.9
11	月	4	15.4	109	0.3
12	月	4	15.4	2,193	5.2
合	計	26	99.9	41,855	99.9

※ 割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

(5) 火災種別損害額

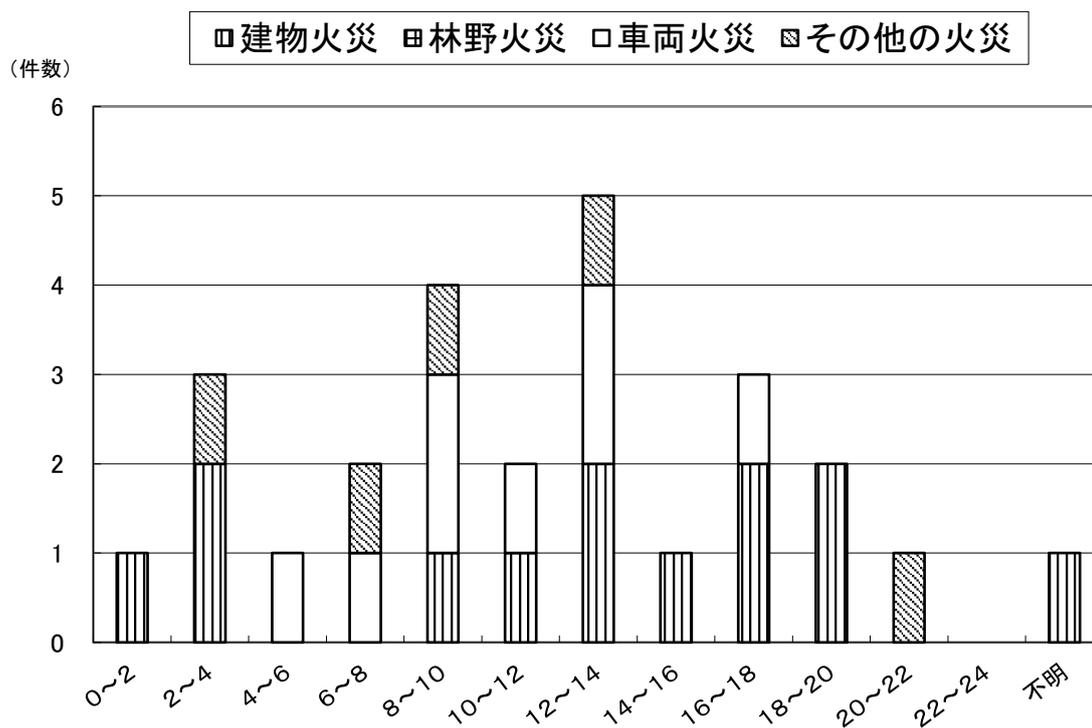
火災種別	区分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)				
建	物	火	災	13	50.0	39,162	93.6		
林	野	火	災	0	0.0	0	0.0		
車	両	火	災	8	30.8	2,422	5.8		
そ	の	他	の	火	災	5	19.2	271	0.6
合	計	26	100.0	41,855	100.0				

(6) 覚知方法別件数

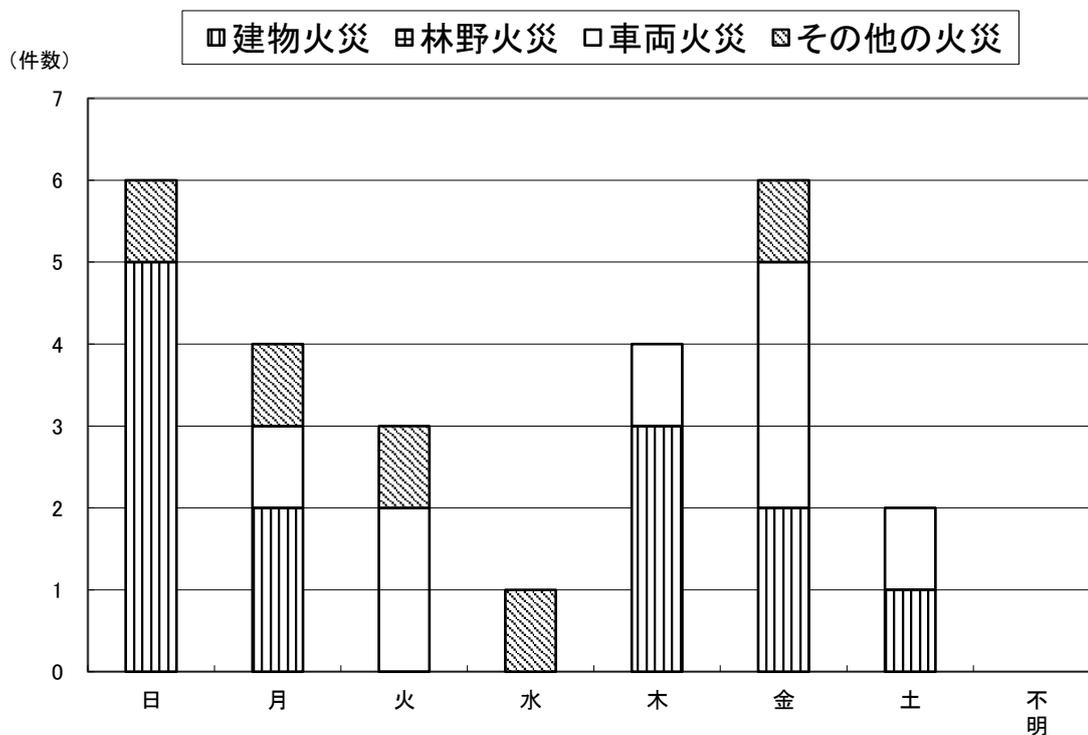
覚知方法	区分	出火件数 (件)	構成比 (%)
火災報知専用電話 固定電話から(NTT加入電話を除く)		4	15.4
火災報知専用電話 固定電話から(NTT加入電話)		0	0.0
火災報知専用電話 携帯電話から		13	50.0
加入電話(固定電話から)		0	0.0
加入電話(携帯電話から)		1	3.8
警察電話		0	0.0
駆け付け通報		1	3.8
事後聞知		6	23.1
その他		1	3.8
合	計	26	99.9

※ 構成比については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

(7) 時間帯別件数



(8) 曜日別件数



2 その他災害統計

(1) その他災害種別の件数

種別 \ 年別	令和5年	令和4年	増減(△印減)
交通	19	18	1
水難	0	0	0
自然	0	0	0
機械	0	0	0
危険物	7	10	△3
建物等	0	0	0
ガス・酸欠	1	1	0
爆発	0	0	0
その他	0	0	0
計	27	29	△2

(2) 市町別その他災害種別の件数

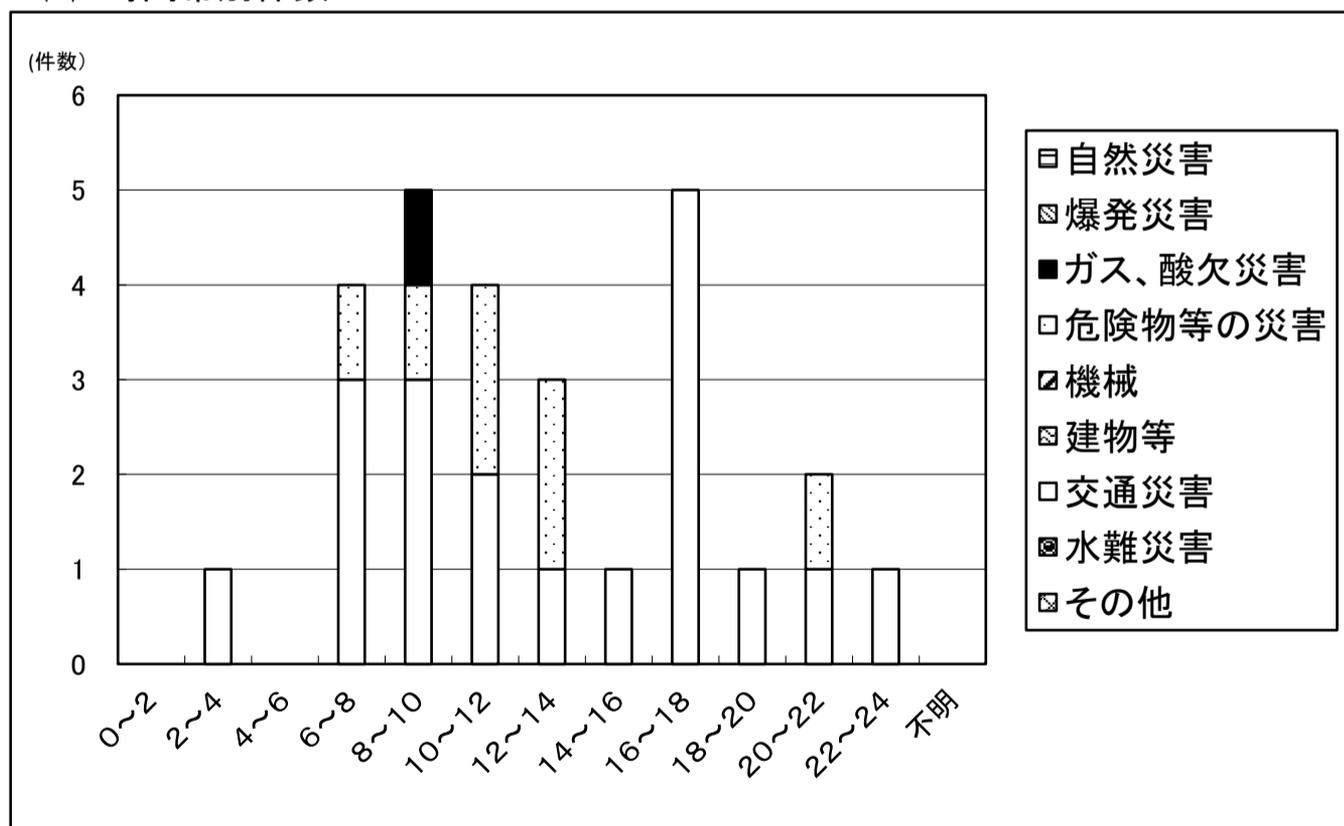
種別 \ 市町別	向日市	長岡京市	大山崎町	その他の市町
交通	8	7	3	1
水難	0	0	0	0
自然	0	0	0	0
機械	0	0	0	0
危険物	4	3	0	0
建物等	0	0	0	0
ガス・酸欠	1	0	0	0
爆発	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	13	10	3	1

(3) 覚知方法別件数

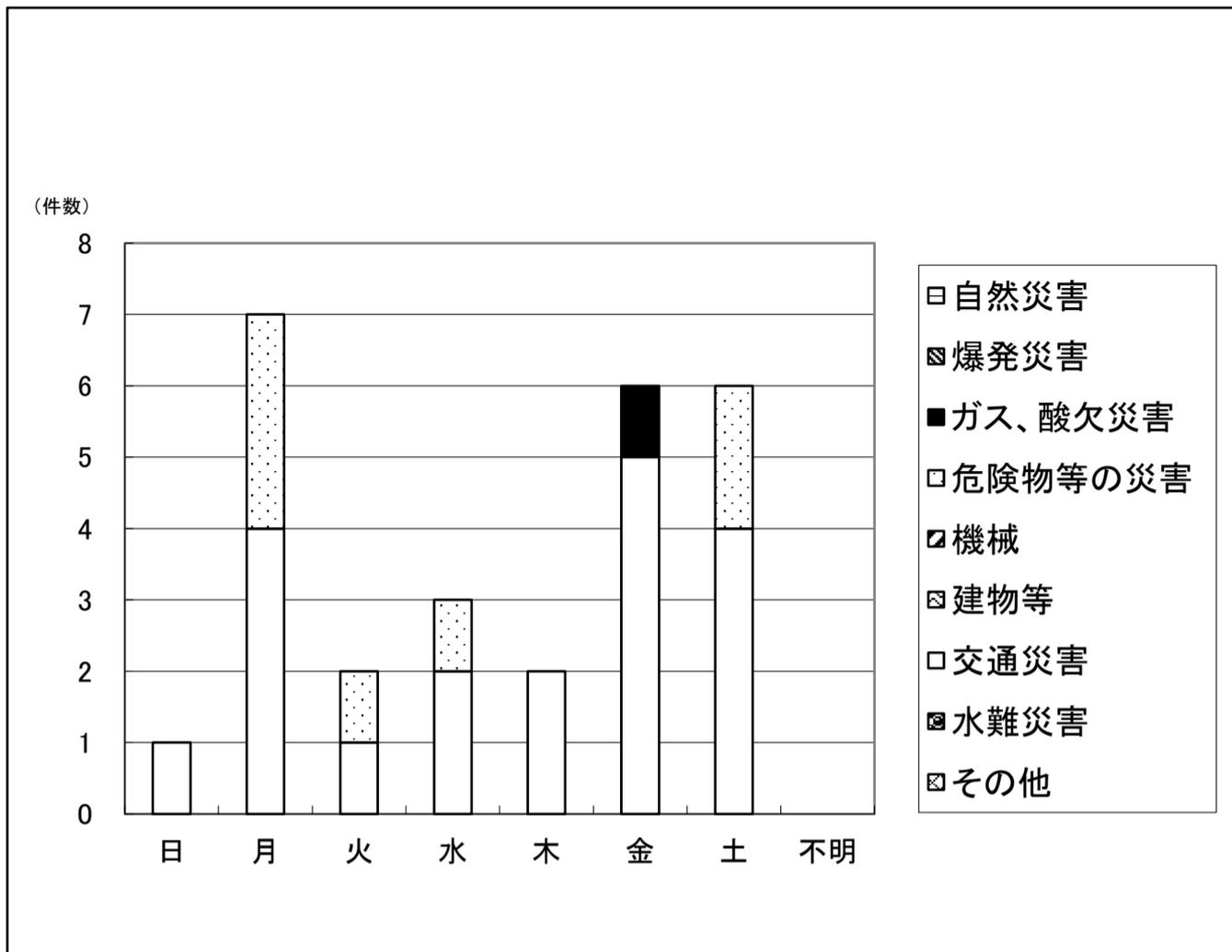
覚知方法	区分	災害件数 (件)	構成比 (%)
火災報知専用電話(固定電話から)		0	0.0
火災報知専用電話(携帯電話から)		10	37.0
火災報知専用電話(IP電話から)		0	0.0
加入電話(固定電話から)		9	33.3
加入電話(携帯電話から)		1	3.7
警察電話		0	0.0
駆け付け通報		0	0.0
事後聞知		0	0.0
西日本高速道路		1	3.7
その他		6	22.2
合計		27	99.9

※ 構成比については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

(4) 時間帯別件数



(5) 曜日別件数



3 救助統計

(1) 事故種別出場件数及び活動件数

事故種別		件数区分		令和5年		令和4年		増減(△印減)	
		出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数		
火 災	建 物	4 (0)	4 (0)	5 (0)	5 (0)	△ 1 (0)	△ 1 (0)		
	建物以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
交 通 事 故		15 (3)	8 (2)	20 (3)	9 (1)	△ 5 (0)	△ 1 (1)		
水 難 事 故		2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)		
風水害等自然災害		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
機械による事故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
建物等による事故		31 (0)	31 (0)	29 (0)	29 (0)	2 (0)	2 (0)		
ガス及び酸欠事故		1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)		
爆 発 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
そ の 他 の 事 故		18 (0)	14 (0)	14 (0)	12 (0)	4 (0)	2 (0)		
計		71 (3)	60 (2)	69 (3)	56 (1)	2 (0)	4 (1)		

※ ()内は、「うち高速道路救助出場件数」を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線、京都縦貫道上下線及び京滋バイパスの一部とする。

(2) 市町別出場件数

事故種別		市町別				計
		向日市	長岡京市	大山崎町	その他の市町	
火 災	建 物	1 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (0)
	建物以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
交 通 事 故		3 (0)	4 (0)	6 (1)	2 (2)	15 (3)
水 難 事 故		0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
風 水 害 等 自 然 災 害		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
機 械 に よ る 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
建 物 等 に よ る 事 故		11 (0)	17 (0)	3 (0)	0 (0)	31 (0)
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
爆 発 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
そ の 他 の 事 故		2 (0)	13 (0)	3 (0)	0 (0)	18 (0)
計		18 (0)	37 (0)	14 (1)	2 (2)	71 (3)

※ ()は、「うち高速道路救助出場件数」を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線、京都縦貫道上下線及び京滋バイパスの一部とする。

(3) 事故種別救出人員

事故種別		年別	救 出 人 員		
			令和5年	令和4年	増 減 (△ 印 減)
火 災	建 物		1 (0)	5 (0)	△ 4 (0)
	建 物 以 外		0 (0)	0 (0)	0 (0)
交 通 事 故			9 (3)	9 (1)	0 (2)
水 難 事 故			2 (0)	0 (0)	2 (0)
風 水 害 等 自 然 災 害			0 (0)	0 (0)	0 (0)
機 械 に よ る 事 故			0 (0)	0 (0)	0 (0)
建 物 等 に よ る 事 故			31 (0)	29 (0)	2 (0)
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故			1 (0)	0 (0)	1 (0)
爆 発 事 故			0 (0)	0 (0)	0 (0)
そ の 他 の 事 故			15 (0)	16 (0)	△ 1 (0)
計			59 (3)	59 (1)	0 (2)

※ ()は、「うち高速道路救助出場における救出人員」を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線、京都縦貫道上下線及び京滋バイパスの一部とする。

(4) 発生場所別出場件数及び活動件数

発生場所		件数区分	令和5年		令和4年		増減(△印減)	
			出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数
屋内	住居		36	32	35	34	1	△ 2
	その他の屋内		2	2	0	0	2	2
屋外	道路	高速道路国道	3	2	3	1	0	1
		その他の道路	8	6	11	6	△ 3	0
	水面	内水面	2	2	2	1	0	1
		外水面	0	0	0	0	0	0
	山岳		7	7	9	8	△ 2	△ 1
	その他の屋外		12	8	8	5	4	3
地下		0	0	0	0	0	0	
その他		1	1	1	1	0	0	
計			71	60	69	56	2	4

※ 内水面－河川・湖沼・池・プール等内陸における水上又は水中(ただし、河川敷やプールのシャワー室等は含まない。)

※ 外水面－上記以外の水上又は水中

4 救急統計

(1) 事故種別出場件数及び搬送人員

年別等 事故種別	令和5年		令和4年		増減(△印減)	
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
火 災	6 (0)	1 (0)	13 (1)	9 (0)	△ 7 (△ 1)	△ 8 (0)
自 然 災 害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
水 難	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
交 通 事 故	536 (15)	508 (19)	515 (8)	466 (8)	21 (7)	42 (11)
労 働 災 害	76 (0)	76 (0)	60 (1)	60 (1)	16 (△ 1)	16 (△ 1)
運 動 競 技	96 (0)	95 (0)	72 (0)	72 (0)	24 (0)	23 (0)
一 般 負 傷	1,351 (0)	1,231 (0)	1,216 (0)	1,087 (0)	135 (0)	144 (0)
加 害	20 (0)	18 (0)	26 (0)	18 (0)	△ 6 (0)	0 (0)
自 損 行 為	64 (0)	49 (0)	66 (0)	41 (0)	△ 2 (0)	8 (0)
急 病	5,229 (3)	4,750 (1)	5,073 (2)	4,552 (1)	156 (1)	198 (0)
そ の 他	563 (1)	433 (0)	547 (0)	427 (0)	16 (1)	6 (0)
計	7,942 (19)	7,161 (20)	7,588 (12)	6,732 (10)	354 (7)	429 (10)
一日平均件数	21.8	19.6	20.8	18.4	1.0	1.2

注：()内は、「うち高速道路救急出場件数及び搬送人員」を表す。

(2) 年齢区分別事故種別搬送人員

事故種別 年齢区分	事故種別					計
	急病	交通事故	一般負傷	その他		
新生児	5	0	0	4	9	
乳幼児	377	14	90	8	489	
少年	144	37	40	44	265	
成人	1,202	274	167	306	1,949	
高齢者	3,022	183	934	310	4,449	
計	4,750	508	1,231	672	7,161	

※ 新生児：生後28日未満
 乳幼児：生後28日以上満7歳未満
 少年：満7歳以上満18歳未満
 成人：満18歳以上満65歳未満
 高齢者：満65歳以上

(3) 事故種別傷病程度別搬送人員

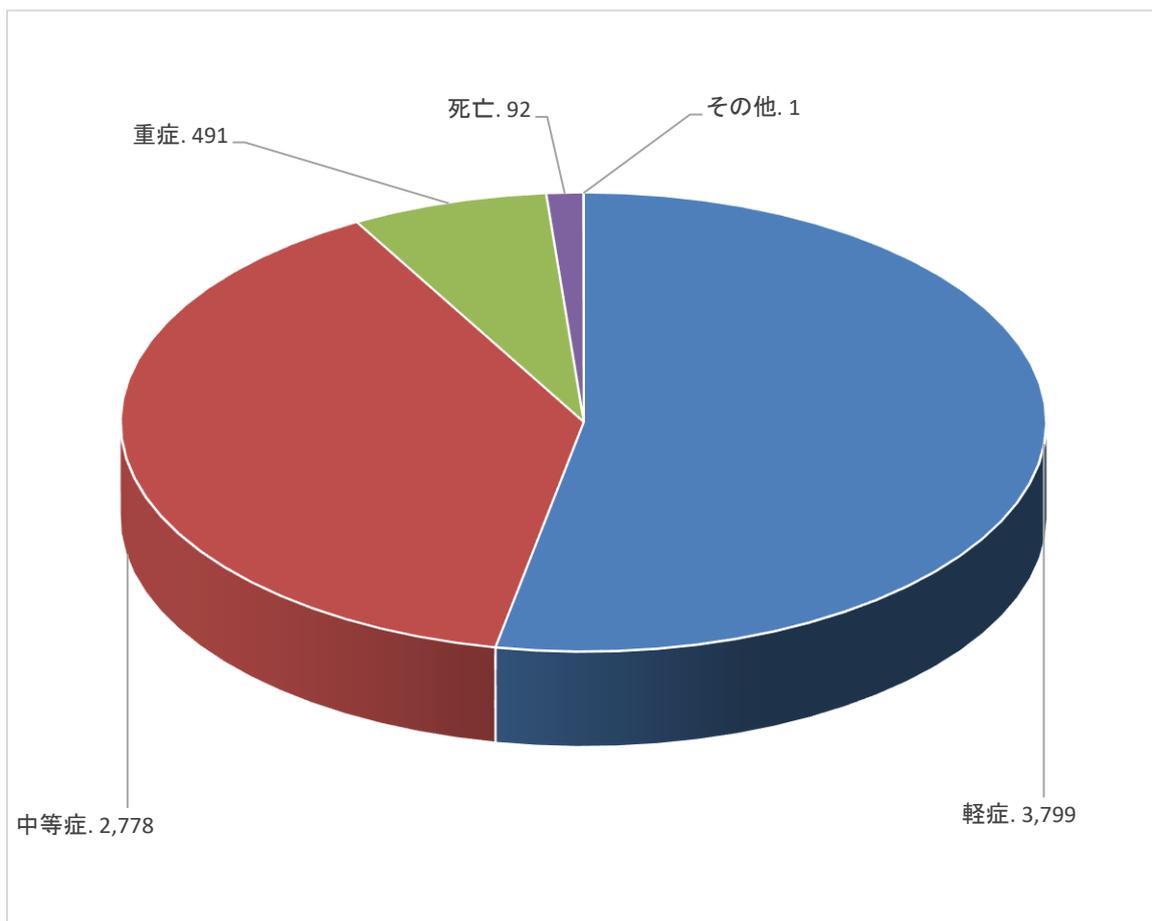
事故種別	傷病程度					
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
急病	80	313	1,955	2,401	1	4,750
交通事故	3	25	83	397	0	508
一般負傷	2	104	334	791	0	1,231
その他	7	49	406	210	0	672
計	92	491	2,778	3,799	1	7,161

※ 死亡：初診時において、死亡が確認されたもの
 重症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので、重症に至らないもの
 軽症：傷病の程度が入院を必要としないもの
 その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所（接骨院等）」へ搬送したもの

(4) 年齢区分別傷病程度別搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
死亡	1	1	0	12	78	92
重症	0	3	5	73	410	491
中等症	4	98	48	540	2,088	2,778
軽症	4	387	212	1,323	1,873	3,799
その他	0	0	0	1	0	1
計	9	489	265	1,949	4,449	7,161

(5) 傷病程度別搬送人員



(6) 市町別出場件数

地域名		事故種別				
		急病	交通事故	一般負傷	その他	計
向日市	5年	2,006 (1)	227 (0)	486 (0)	220 (0)	2,939 (1)
	4年	1,944 (0)	197 (0)	462 (0)	207 (0)	2,810 (0)
増減 (△印減)		62 (1)	30 (0)	24 (0)	13 (0)	129 (1)
長岡京市	5年	2,701 (0)	223 (2)	707 (0)	551 (0)	4,182 (2)
	4年	2,618 (0)	251 (3)	638 (0)	517 (0)	4,024 (3)
増減 (△印減)		83 (0)	△28 (△1)	69 (0)	34 (0)	158 (△1)
大山崎町	5年	516 (2)	63 (5)	148 (0)	50 (0)	777 (7)
	4年	506 (2)	49 (2)	110 (0)	53 (2)	718 (6)
増減 (△印減)		10 (0)	14 (3)	38 (0)	△3 (△2)	59 (1)
京都市	5年	6 (0)	14 (0)	9 (0)	5 (1)	34 (1)
	4年	5 (0)	13 (0)	5 (0)	7 (0)	30 (0)
増減 (△印減)		1 (0)	1 (0)	4 (0)	△2 (1)	4 (1)
島本町	5年	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (1)
	4年	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)
増減 (△印減)		0 (0)	△1 (1)	0 (0)	0 (0)	△1 (1)
その他	5年	0 (0)	8 (7)	0 (0)	0 (0)	8 (7)
	4年	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)
増減 (△印減)		0 (0)	5 (4)	0 (0)	0 (0)	5 (4)
合計	5年	5,229 (3)	536 (15)	1,351 (0)	826 (1)	7,942 (19)
	4年	5,073 (2)	515 (8)	1,216 (0)	784 (2)	7,588 (12)
増減 (△印減)		156 (1)	21 (7)	135 (0)	42 (△1)	354 (7)

注：()内は、「うち高速道路救急出場件数」を表す。

(7) 消防署別出場件数

消防署名		事故種別				
		急病	交通事故	一般負傷	その他	計
向日消防署	5年	1,793	181	441	220	2,635
	4年	1,716	163	406	224	2,509
増減(△印減)		77	18	35	△ 4	126
長岡京消防署	5年	1,640	145	416	284	2,485
	4年	1,562	143	377	291	2,373
増減(△印減)		78	2	39	△ 7	112
東分署	5年	893	107	237	126	1,363
	4年	885	122	217	100	1,324
増減(△印減)		8	△ 15	20	26	39
大山崎消防署	5年	903	103	257	196	1,459
	4年	910	87	216	169	1,382
増減(△印減)		△ 7	16	41	27	77
合計	5年	5,229	536	1,351	826	7,942
	4年	5,073	515	1,216	784	7,588
増減(△印減)		156	21	135	42	354

(8) 救急隊員が行った応急処置状況

事故種別 応急処置対象人員		急病	交通事故	一般負傷	その他	計							
		4,750	508	1,231	672	7,161							
処置事項													
止	血	21	14	94	15	144							
固	定	13	96	82	46	237							
人	工	呼	吸	10	0	0	5	15					
心	マ	ッ	サ	ー	ジ	0	0	0					
心	肺	蘇	生	125	5	7	11	148					
酸	素	吸	入	913	34	58	176	1,181					
気	道	確	保	165	7	10	19	201					
	経	鼻	エ	ア	ウ	エ	イ	1	0	1	0	2	
	喉	頭	鏡	、	鉗	子	等	1	0	1	0	2	
	ラ	リ	ン	ゲ	アル	マスク	29	0	1	1	31		
	気	管	挿	管	10	0	1	1	12				
保	温	65	9	17	11	102							
被	覆	25	99	314	31	469							
在	宅	医	療	102	0	7	2	111					
ショックパンツによる血圧の保持		0	0	0	0	0							
除	細	動	14	0	0	1	15						
静	脈	路	確	保	41	0	3	4	48				
薬	剤	投	与	32	0	3	2	37					
その他の応急処置		4,703	500	1,217	662	7,082							
血	圧	測	定	4,503	498	1,186	656	6,843					
聴	診	器	に	よ	る	聴	取	2,174	186	357	219	2,936	
血	中	酸	素	飽	和	度	測	定	4,620	502	1,212	662	6,996
心	電	図	測	定	1,626	38	111	124	1,899				
計		19,152	1,988	4,678	2,646	28,464							

注：1 一人につき複数の応急処置を行う事もあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の係数とは一致しない。

注：2 拡大された応急処置のうちショックパンツと自動式心マッサージ器は積載していない。